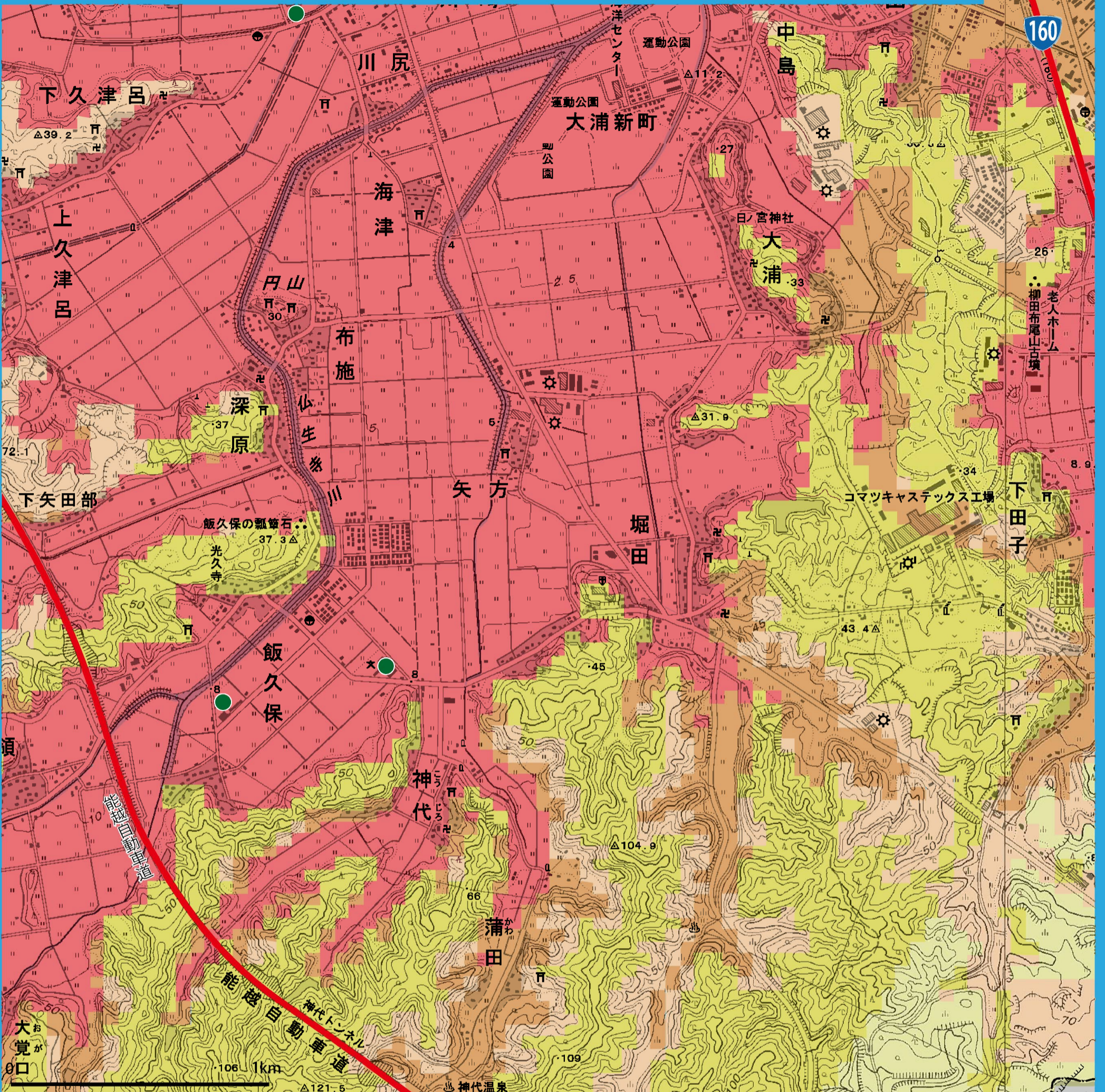


氷見市 ゆれやすさマップ 神代地区

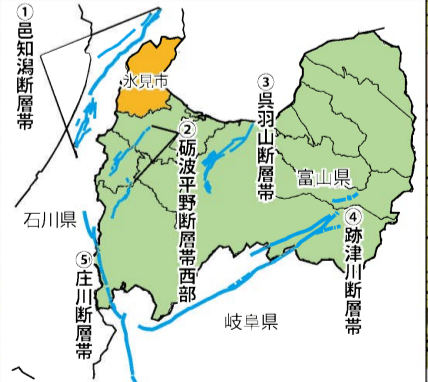


平成 22 年 7 月作成

※『氷見市ゆれやすさマップ』は、「地震防災マップ作成技術資料(平成17年3月内閣府)」に基づき、

※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平22業複、第208号)」

氷見市への影響が想定される活断層



活断層	地震規模
① 邑知潟断層帯 (石動山断層帯など)	M7.6
② 砺波平野断層帯西部 (法林寺断層帯など)	M7.2
③ 呉羽山断層帯 (呉羽山断層帯)	M7.2
④ 跡津川断層帯 (跡津川断層帯など)	M7.9
⑤ 庄川断層帯 (加須良断層帯など)	M7.9
⑥ 全国どこでも起こりうる直下型の地震	M6.9

(地震調査研究推進本部資料より)
※M(マグニチュード)とは、地震そのものの大きさ(規模)を表わす尺度です。

ゆれやすさマップとは?

地形や地質の状況を考慮し、影響が大きいと考えられる地震について、震源となる活断層の位置や距離(長さ)、想定される地震の規模(マグニチュード)などの情報に基づき、ゆれの大きさを推計し、地図上に表現したものです。

『氷見市ゆれやすさマップ』は、氷見市全域を約50m四方(メッシュ)単位に分割し、そのメッシュごとに氷見市への影響が想定される「邑知潟断層帯で発生する地震」、「砺波平野断層帯西部で発生する地震」、「呉羽山断層帯で発生する地震」、「跡津川断層帯で発生する地震」、「庄川断層帯で発生する地震」、「全国どこでも起こりうる直下型の地震」について地表における震度を推計し、それぞれの地震の推計結果の中から『最大震度』を地図上に表現しています。

注釈：ゆれやすさマップにおいて推計した震度は、あくまでも氷見市の地形・地質に基づいて計算した想定の結果であり、地震が発生した際に、必ずしもこのような結果になるとは限りません。

震度のめやす		地図記号の凡例		
計測震度	震度階級	記号	説明	
大	7	◎	氷見市役所	
	6.5	●	収容避難所	
	6.4	☺	消防本部	
	6.3	---	行政界	
	6.2	—	第1次緊急通行確保路線	
ゆれやすさ	6強	—	第2次緊急通行確保路線	
	6.1	—	JR氷見線	
	6.0	○	お問い合わせ	
	6弱	◎	氷見市役所総務課	
	小	5.5	〒935-8686 氷見市丸の内1番1号 TEL:0766(74)8021(総務課) FAX:0766(74)4004(総務課)	